

再認証受験申請書の記入要領

レベル 1、レベル 2 用

JIS Z 2305:2013 による認証制度の変更により**受験申請機会は 1 回※¹のみです。受験申請受付期間に手続きを行わないと再認証試験及び再認証再試験の機会も失い、資格証明書に記載の有効期限にて資格証明書を失効することになります。十分にご注意ください。**

※¹ 受験申請の機会は 1 回ですが、受験申請された方の試験の機会は、約半年の間に 3 回（再認証試験 1 回、再認証再試験 2 回）あります。

◆提出書類について

受験申請にあたり、次の書類が必要となります。記入要領及び提出書類の詳細は、次頁以降を読んでください。受験申請書を送る前に次の書類が全て揃っているかチェックボックスを利用して必ず確認してください。

レベル 1 及びレベル 2 受験者

☐	①再認証受験申請書
☐	②資格継続調査票（顔写真を貼付すること）

<重要> ①の受験申請書については、受付速報等の確認でコピーが必要です。各自、郵送前に必ずコピーを取り控えとして保管してください。

A～**D**エリア毎に、確認項目と記入方法を説明します。

 * P 0 0 7 7 2 4 2 5 *		 * J 2 0 1 7 0 4 0 0 0 4 4 *		受験申請書発行番号 J20170400044 G1005375	
2017年春期専用 JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 再認証受験申請書					
日程表で案内している再認証試験の日程では受験出来ない場合も、本申請を行わないと今期中に行う再認証再試験の受験機会を失います。資格継続の意思がある方は必ず本書類を締切日までに簡易書留で郵送し、再試験の権利を得てください。					
◆重要◆再認証の受験年数は、本申請書に記載されている年数のみです。※翌期への振替等は出来ません。					
受検者氏名 非破壊 太郎 HIHAKAI TAROU		生年月日 1972年02月03日生		性別 L.男性	
勤務先名 非破壊ABC(株) 検査課		電話番号 03-5609-4014		FAX番号 03-5609-4062	
E-mail tarou_hihakai@jsndi.or.jp		1700044			
送付先指定 2.勤務先本人		送付先受検者名又は担当者名 非破壊 太郎		送付先住所 136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14	
受検年数 2017年春期		試験種別 再認証			
申請NDT方法・レベル RT・レベル1		現行資格の認証番号 N12345678			
個人コード P12345678		個人コード P12345678			

申請者記入欄		私は、資格試験実施案内<再認証>に記載された内容に同意し申請を行います。	
①申請書提出日 2016年10月3日	②申請者署名 非破壊太郎	③押印 	雇用責任者記入欄
④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1～3のうち一つ選んで番号を記入		①本受験申請書の記載内容の証明 ②視力要求(近方視力)を満たしていることの証明 様式V-1に基づいて実施し、様式V-1原本を保管します。	
⑤再認証試験 27		証明日 2016年9月15日	
⑥再試験1回目 27		雇用責任者氏名と印 非破壊宗一郎	
⑦再試験2回目 13		勤務先名 非破壊ABC(株)	
⑧実技選択(UTのみ) "1"(持込み)、“2”(Gタイプ)、または“3”(Rタイプ)を選択し記入。		所属部課名・役職 検査部 部長	
[レベル3申請者のみ記入] ⑨実技能力確認書類 ※右欄の1～4のうち一つ選んで番号を記入		勤務先電話番号 03-5609-4014	
1. 受験します。 2. 再認証試験は欠席し、再試験1回目からの受験を希望します。 3. クレジット申請します。←【レベル3申請者のみ選択可】 ※1～3.が不合格の場合、自動的に直近の再試験受験へ移行するため⑥⑦は必ず記入。		①実務経歴書 ②実技能力を証明するレポート ③申請NDTレベル2資格証明書 ④申請NDTレベル2資格試験合格有効な新規認証申請書を保持	
①で1.を選択した方は、④⑤⑥⑦を参照し受験希望地区(2桁の番号)を1地区記入。 ④で2.または3.を選択した方は“99”と記入すること。 ④で1.2.3.のいずれを選択しても記入のこと。 再試験1回目の受験地区は東京・大阪・九州・千葉の4地区、再試験2回目の受験地区は東京・大阪の2地区です。④⑤⑥⑦を参照し、ご希望の地区を選択し⑥、⑦へ各々記入。		①実務経歴書 ②実技能力を証明するレポート ③申請NDTレベル2資格証明書 ④申請NDTレベル2資格試験合格有効な新規認証申請書を保持	
①(持込み)、“2”(Gタイプ)、または“3”(Rタイプ)を選択し記入。		①実務経歴書 ②実技能力を証明するレポート ③申請NDTレベル2資格証明書 ④申請NDTレベル2資格試験合格有効な新規認証申請書を保持	
①実務経歴書 ②実技能力を証明するレポート ③申請NDTレベル2資格証明書 ④申請NDTレベル2資格試験合格有効な新規認証申請書を保持		①実務経歴書 ②実技能力を証明するレポート ③申請NDTレベル2資格証明書 ④申請NDTレベル2資格試験合格有効な新規認証申請書を保持	

A

受検年数	2017年春期
試験種別	再認証
申請NDT方法・レベル	RT・レベル1
現行資格の認証番号	N12345678
個人コード	P12345678

次の(1)～(5)の項目の記載内容の確認を行ってください。

- (1) 受検年数：当該期の受験申請書であることを確認してください。当該期以外の受験申請書は使用できません。
- (2) 試験種別：受験する種別『再認証』が記載されています。
- (3) NDT方法・レベル：受験するNDT方法・レベルが記載されています。
- (4) 現行資格の認証番号：現在保持している資格証明書に記載されている認証番号(N+数字8桁)
- (5) 個人コード：資格証明書に記載されている個人コード(P+数字8桁)

次の(1)～(11)の項目の記載内容の確認を行ってください。

B	申請者データ	受験者氏名	ヒハカイ 太郎 HIHAKAI TAROU	生年月日	1972年02月03日生		
		勤務先名 所属部課名	ヒハカイタロウ 非破壊ABC (株) 検査課	性別	1.男性	業種	01.検査
		E-mail	tarou_hihakai@jsndi.or.jp			電話番号	03-5609-4014
		送付先指定	2.勤務先本人	送付先受験者名又は担当者名	非破壊 太郎		
		送付先住所	136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14				
		 1700044					

※印字記載されている内容は、認証申請時の登録データ又は個人データ変更届けが反映された内容です。

申請書データ欄に修正がある場合

同封の資格継続調査票にて必ず修正を行ってください。再認証受験申請書に修正を行ってもデータの反映は行われません。

- (1) 受験者氏名：受験者本人の受験申請書であることを確認してください。
※1 結婚等の理由で氏名が変更になった場合は、「戸籍抄本(原本)」と「氏名変更に伴う確認書」の提出が併せて必要となります。申請書提出前に認証事業本部まで電話にて手続方法をお問い合わせください。
- (2) 生年月日：受験者本人の生年月日であることを確認してください。
- (3) 性別：男性は“1”、女性は“2”が記載されています。
- (4) 業種：業種コードと業種が記載されています。
- (5) 勤務先名所属部課名 [20文字以内]：会社形態〔(株)、(有)等〕は1文字として数えます。
フリガナ勤務先名は、記入文字数をオーバーした文字は割愛してあります。
- (6) 電話番号：申請書類に不備等がある場合、連絡を入れることがあります。日中に連絡が取れる電話番号が記載されているか確認してください。連絡が取れない時は、申請を受け付けできない場合があります。番号間違えの無いようご注意ください。
- (7) FAX 番号：申請書類に不備等がある場合、FAXにより連絡を入れることがあります。連絡が取れない時は、申請を受け付けできない場合があります。番号間違えの無いようご注意ください。
- (8) E-mail：連絡を E-mail で行う場合があります。「(9) 送付先指定」の方の E-mail を記入してください。
- (9) 送付先指定：「自宅本人は“1”」、「勤務先本人は“2”」、「担当者（その他連絡先）は“3”」が記載されています。書類送付先の住所は日本国内に限りです。
- (10) 送付先受験者名又は担当者名 [10文字以内]：「(9) 送付先指定」で自宅本人又は勤務先本人としている方は、受験申請者名が記載されています。また、送付先指定で担当者（その他連絡先）とした場合は担当者名（姓名）が記載されています。
- (11) 送付先住所：「(9) 送付先指定」で指定した住所が記載されています。
- (12) 再認証受験申請書の JSNDI ロゴマークの下に記載されている番号は、後日、ホームページに掲載される『JIS Z 2305：2013 再認証試験受験申請受付状況』をご覧頂くときに必要となります。
受験申請書に記載された番号のお問い合わせは受け付けられませんので、必ず控えをおとりください。

C

申請者記入欄		私は、資格試験実施案内＜再認証＞に記載された内容に同意し申請を行います。	
①申請書提出日	20 年 月 日	②申請者署名	③押印
④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1～3のうち一つ選んで番号を記入		1. 受験します。 2. 再認証試験は欠席し、再試験1回目からの受験を希望します。 3. クレジット申請します。－【レベル3申請者のみ選択可】 ※1.～3.が不合格の場合、自動的に直近の再試験受験へ移行するため⑥⑦は必ず記入。	
受験地区	⑤再認証試験	④で1.を選択した方は、日程表を参照し受験希望地区（2桁の番号）を1地区記入。 ④で2.または3.を選択した方は、“99”と記入すること。	
	⑥再試験1回目	④で1.2.3.のいずれを選択しても記入のこと。	
	⑦再試験2回目	再試験1回目の受験地区は東京・大阪・九州・千歳の4地区、再試験2回目の受験地区は東京・大阪の2地区です。日程表を参照し、ご希望の地区を選択し⑥、⑦へ各々記入。	
	⑧実技選択(UTのみ)	“1”(持込み)、“2”(Gタイプ)、または“3”(Rタイプ)を選択し記入。	
[レベル3申請者のみ記入] ⑨実技能力確認書類 ※右欄の1～4のうち一つ選んで番号を記入		1. 実務経歴書 2. 申請者NDTレベル2資格証明書 3. 申請者NDTレベル2資格試験合格者 4. 申請者NDTレベル2資格試験合格者 ⑨はレベル3の記入欄です。 (レベル1及びレベル2の方は記入不要)	

レベル1、レベル2の方は、①～⑧を記入してください。

※TT1,2,LT1,2の受験地区は東京のみです。

⑤～⑦には「13」(東京)と記入してください。

受験申請者記入欄

申請書記入項目の①～⑧に必要な事項を記入し押印してください。

※受験申請者が、資格試験実施案内＜再認証＞を読み同意のうえ受験申請を行ってください。

- ①申請書提出日：書類作成日を記入してください。
- ②申請者署名：受験申請者本人がボールペンで自筆署名してください。
- ③押印：受験申請者本人の個人印を押してください。
- ④再認証試験受験意思の確認：“1”又は“2”の番号のいずれか一つを選択して記入してください。
- ※“3”は、レベル3用なので選択できません。

“1”（再認証試験からの受験を希望の方）

“2”（再認証試験の日程では都合が悪いため、再試験の1回目からの受験を希望の方）

<重要>再認証試験の日程では都合が悪いため、再試験の1回目からの受験を希望される場合は、

“2”を選択し、必ず再認証試験受験申請書を提出してください。指定された受験申請期間内に申請（提出）を行わないと再認証再試験の受験権利が得られません。

“2”を選択した場合の再認証試験結果通知書には「不合格（当該受験申請見送りによる。）」として記載されますが、再認証試験受験料は発生しません。

- ⑤再認証試験受験地区：受験当該期の日程表を参照して1地区（2桁の番号）のみ記入してください。

※④で“2”を選択した場合、“99”と記入してください。

※春期と秋期で設定されていない受験地区もありますので注意してください。

⑥⑦は、④で選択した番号にかかわらず必ず記入すること。

- ⑥再認証再試験1回目受験地区：レベル1・2は東京、大阪、福岡、千歳、レベル3は東京、大阪です。日程表を参照し、『東京“13”』、『大阪“27”』、『福岡“40”』、『千歳“49”』の4地区から1地区（2桁の番号）のみ記入してください。再認証試験を『不合格』（欠席による不合格を含む）となった方は、自動的に再認証再試験1回目の受験対象者となります。受験申請時に必ず再試験1回目受験地区を記載してください。

- ⑦再認証再試験2回目受験地区：再試験の受験地区は『東京』と『大阪』の2地区のみです。日程表を参照し、『東京“13”』又は『大阪“27”』の2地区から1地区（2桁の番号）のみ記入してください。再認証再試験1回目を不合格（欠席含む）となった方は、自動的に再認証再試験2回目の受験対象者となります。受験申請時に必ず再試験2回目受験地区を記載してください。

⑧は、UT、UM 及び TT の受験者のみ記入。

- ⑧実技選択：UT、UM 及び TT 受験者は、下記及び5-6 頁「実技試験で使用する機器（UT、UM 及び TT）について」を参照のうえ、使用を希望する装置を選択し、該当する数字を記入してください。

- ・UT：“1”（持込），“2”（USM38 JE）または、“3”（R タイプ）
- ・UM：“1”（持込）または、“2”（45MG）

- ・TT：“4”（NEC/Avio 製 H2630 タイプ）、“5”（FLIR 製 SC620 タイプ）または、“6”（持込）

■実技試験で使用する機器（UT、UM 及び TT）について

◆超音波探傷試験（UT）実技試験で使用する超音波探傷器について

超音波探傷試験（UT）の実技試験では「JSNDI が準備する探傷器による受験」又は「探傷器持込み受験」のいずれかを選択して受験できます。

「JSNDI が準備する探傷器による受験」では、デジタル超音波探傷器の 2 つのタイプ（USM38 JE 又は R タイプ（JSNDI 仕様））から 1 つを選択して受験します。「探傷器持込み受験」では、「アナログ探傷器」又は「JSNDI が公表したデジタル探傷器」のいずれかを持ち込んで受験します。

受験を希望する方は下記を参考にして希望の受験方法を選択し、受験申請書の実技選択欄に記入してください。記入のない場合、こちらで「JSNDI が準備する探傷器による受験」の USM38 JE 又は R タイプを指定させていただきます。

《超音波探傷試験（UT）の受験を希望する場合の「実技選択」の記入方法》

下記を参考に、使用を希望するデジタル超音波探傷器に対応する数字（「1」、「2」又は「3」）を受験申請書の実技選択欄に記入してください。

1：持込み探傷器受験^{*1}

2：USM38 JE 探傷器受験^{*2}

3：R タイプ探傷器受験^{*3}

^{*1}：持込み探傷器受験の詳細については、本資料 3 項「探傷器持込み受験実施の要点」を参照してください。

^{*2}：USM38 JE 探傷器の説明については、当協会ホームページ (<http://www.jsndi.jp/qualification/index1n-01.html>) の (EA7-2)「USM38 JE 操作マニュアル」を参照してください。

^{*3}：R タイプ探傷器の説明については、当協会ホームページ (<http://www.jsndi.jp/qualification/index1n-01.html>) の (EA7-3)「JSNDI 仕様デジタル超音波探傷器の基本操作仕様について」を参照してください。

＜UT 1 及び UT 2 受験申請の方の「実技選択」＞

受験申請書の「実技選択」欄に「1」、「2」、「3」以外の数字を記入されたり、「空白」とされた方については、こちらで「2（USM38 JE）」又は「3（R タイプ）」を指定させていただきます。

◆超音波厚さ測定（UM）実技試験で使用する超音波探傷器について

超音波厚さ測定（UM）の実技試験において、2027 年 2 月以降の実技試験では「超音波厚さ計持込み受験」を認めます。「JSNDI が準備する超音波厚さ計による受験」又は「超音波厚さ計持込み受験」のいずれかを選択して受験できます。

「JSNDI が準備する超音波厚さ計による受験」では超音波厚さ計 45MG（ワブテック製）を使用して受験します。「超音波厚さ計持込み受験」では「JSNDI が公表した超音波厚さ計」を受験者が用意し持ち込んで受験します。

受験を希望する方は下記を参考にして希望の受験方法を選択し、受験申請書の実技選択欄に記入してください。記入のない場合、こちらで「JSNDI が準備する超音波厚さ計による受験」を指定します。

《超音波厚さ測定（UM）の受験を希望する場合の「実技選択」の記入方法》

下記を参考に、使用を希望する超音波厚さ計に対応する数字（「1」又は「2」）を受験申請書の実技選択欄に記入してください。

1：超音波厚さ計持込み受験^{*4}

2：超音波厚さ計 45MG 受験^{*5}

^{*4}：超音波厚さ計持込み受験の詳細については、本資料 3 項「超音波厚さ計持込み受験実施の要点」を参照してください。

^{*5}：超音波厚さ計 45MG の説明については、当協会ホームページ (<http://www.jsndi.jp/qualification/index1n-01.html>) の (EA8-2)「45MG 操作マニュアル」を参照してください。

＜UM 1 受験申請の方の「実技選択」＞

受験申請書の「実技選択」欄に「1」、「2」以外の数字を記入されたり、「空白」とされた方については、こちらで「2（超音波厚さ計 45MG 受験）」を指定させていただきます。

◆赤外線サーモグラフィ試験（TT）実技試験で使用する赤外線サーモグラフィ装置について

赤外線サーモグラフィ試験（TT）の実技試験では、2024 年秋期新規試験及び 2025 年春期再認証試験より「赤外線サーモグラフィ装置の持込み受験」を認めています。「JSNDI が準備する赤外線サーモグラフィ装置による受験」又は「持込み受験」のいずれかを選択して受験できます。

- ・「JSNDI が準備する赤外線サーモグラフィ装置による受験」では、2 機種（NEC/Avio 製（H2630 又は R シリーズ）^{*6}、FLIR 製 SC620）から 1 つを選択します。

^{*6}: 実技試験における NEC/Avio 製 H2630 の使用は 2027 年 3 月末をもって終了し、2027 年 4 月以降は後継機種の Avio 製 R シリーズに移行します。詳細は当協会ホームページ（<http://www.jsndi.jp>）の（EA10）「TT 実技試験について」を参照してください。

- ・「持込み受験」では、「JSNDI が公表した赤外線サーモグラフィ装置」を持ち込んで受験します。受験を希望する方は下記を参考に希望の受験方法を選択し、受験申請書の実技選択欄に記入してください。

- ・ 実技選択欄が空欄の場合は、「JSNDI が準備する赤外線サーモグラフィ装置による受験」とし、「4（NEC/Avio 製）」又は「5（FLIR 製）」を JSNDI が指定します。

＜赤外線サーモグラフィ試験（TT）を受験する場合の「実技選択」記入方法＞

下記を参考に、使用を希望する赤外線サーモグラフィ装置に対応する数字（「4」又は「5」、「6」）を受験申請書の実技選択欄に記入してください。

※各タイプ専用の画像処理ソフト及びパソコンは準備いたしますので、パソコンの持ち込み出来ません。

4：NEC/Avio 製 H2630（又は希望者のみ Avio 製 R シリーズ）受験^{*7}

※「4」を選択された受験者のうち、2027 年 3 月末までの再認証試験対象者には Avio 製 R シリーズを希望するか確認の連絡をします。（2026 年 10 月～2027 年 3 月に実施される実技試験の移行期間のみの措置です。）

2027 年 4 月以降の試験（再認証再試験 1 回目以降）においては Avio 製 R シリーズを使用します。

5：FLIR 製 SC620 受験^{*7}

6：持ち込み受験^{*7}

^{*7}：各タイプ及び使用ソフトの説明、持込み機種の詳細については、当協会ホームページ

（<https://www.jsndi.jp/qualification/index1n-01.html>）の（EA10）「TT 実技試験について」を参照してください。

＜TT1 及び TT2 受験申請の方の「実技選択」＞

受験申請書の「実技選択」欄に「4」、「5」、「6」以外の数字が記入されていたり、空欄の場合は、JSNDI が「4（NEC/Avio 製）」又は「5（FLIR 製）」を指定させていただきます。

D	雇用責任者記入欄	
	私は、本受験申請者の雇用責任者として、申請内容及び下記①、②の内容を証明します。又、証明にあたり資格試験実施案内＜再認証＞に記載された内容に同意します。 ①本受験申請書の記載内容の証明 ②視力要求（近方視力）を満たしていることの証明 様式V-1に基づいて実施し、様式V-1原本を保管します。	
	証明日	20 年 月 日
	雇用責任者氏名と印	印
	勤務先名	
	所属部課名・役職	
勤務先電話番号		

雇用責任者記入欄

次の(1)～(4)の項目に必要な事項を記入し押印してください。

※雇用責任者の方が、「資格試験実施案内＜再認証＞」を読み同意のうえ証明を行ってください。

受験者本人が雇用責任者に当たる場合（個人で申し込む場合も含む）、受験者本人に雇用責任者としての責務が課せられます。雇用責任者の立場として必ず全ての項目の記入を行ってください。

- (1) 証明日：受験申請者が必要事項（本書C項）を記入した後、雇用責任者が受験申請の内容確認を行った日付を西暦で記入してください。
- (2) 雇用責任者氏名と印：雇用責任者とは、会社の代表者でなくても受験申請者の雇用に責任を持てる方（課長、部長、工場長等）で結構です。印は雇用責任者の個人印又は社判に相当するものを押してください。
- (3) 勤務先名、所属部課名・役職：雇用責任者の所属等を記入してください。
- (4) 勤務先電話番号：受験申請の内容について問合せを行う場合がありますので必ずご記入ください。

レベル1 及びレベル2 再認証受験申請の流れ

- ① JSNDI より専用の『再認証受験申請書』と『資格継続調査票』が登録された住所に届きます。
- ② 受験者は『再認証受験申請書』と『資格継続調査票』の各々の書類に必要事項を記入し押印してください。
※登録した住所等に変更がある場合は、『資格継続調査票』にて必ず修正を行ってください。
- ③ 雇用責任者は、受験申請者の申請内容を確認のうえ、必要事項を記入・押印し、証明を行ってください。
- ④ 受験申請した内容問合せについては回答できません。『再認証受験申請書』と『資格継続調査票』のコピーを取って受験者控えとしてください。
又、受付速報等の確認で受験申請書のコピーが必要です。各自、郵送前に必ずコピーを取り控えとして保管してください。

★提出書類の纏め方★

下表の(1)(2)の書類を順番に重ねてください。複数件の申請を行う場合は、透明ファイル（クリアフォルダ）又はクリップ留めして書類を纏めてください。

※ひとつの封筒で複数の申請（例 A氏の UT1 と RT2, A氏の UT1 と B氏の UT1⇒4 申請）を行う場合は、申請単位毎に透明ファイル（クリアフォルダ）に入れてください。（申請書類が混在するので、クリップ留めでの申請は行わないこと。）

受験申請書類	封筒サイズ
レベル1、レベル2の方で申請数 1 件の方 (1) 受験申請書 (2) 資格継続調査票	長 3 封筒以上 120mm × 235mm 以上
レベル1、レベル2の方で1つの封筒で複数件申請の方 ・ 1人で複数の NDT 申請を行う場合 ・ 会社で複数の申請者の書類を纏めて申請する場合 (1) 受験申請書 (2) 資格継続調査票 封入の際、各受験者の NDT 方法・レベル毎に(1), (2)を透明ファイル（クリアフォルダ）又はクリップ留めし、書類が混在しないようにする。	角2封筒以上 240mm × 332mm 以上

- ⑤ 纏めた提出書類を所定サイズの封筒に入れ、受付締切日時 [必着] 迄に JSNDI 認証事業本部へ郵便局の簡易書留で郵送してください。HP掲載<SA2『再認証試験 日程表』>の巻末頁に掲載している『再認証受験申請書送付ラベル（認証事業本部宛）』を利用すると便利です。
- ※ 受付締切日時以後の受験申請は一切受付ができません。（消印有効ではありませんので、十分に注意をしてください。） 締切日の直前に郵送手続きされた書類については、書留速達を使用されても期日までに到着する保証はありません。申請は余裕を持ち、締切日に近い郵送については期日指定配達等のご利用も検討ください。
- ※ 一度申し込まれた受験申請については、取り消しは認められません（受験料が発生する）ので注意してください。

